

生徒諸君

奨学金担当

2023年度日本学生支援機構奨学金について

日本学生支援機構の奨学金は、大学や専門学校に進学後に必要なお金を、借りるもしくはもらう奨学金です。高校在学中に予約をすることができます。大学・専門学校に進学後に奨学金を必要とする生徒は、保護者の方と相談して、申し込みを検討してください。

日本学生支援機構奨学金では、お金を借りたり、給付を受けたりする対象は生徒本人です。生徒本人が手続きをしなければなりません。書類をよく読み、自分自身が内容を把握し、進路のために奨学金を申し込むということを理解し、保護者の方とよく相談しながら取り組んでください。

今年度の日本学生支援機構奨学金予約採用の申請は、機会が2回あります。

①まず、必ずオンライン動画「【予約採用】奨学金を希望する皆さんへ」を視聴し、奨学金制度や手続きの流れを理解してください。

日本学生支援機構【予約採用】奨学金を希望する皆さんへ／採用候補者の皆さんへ（動画）

URL: <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/movie.html>

QR:



②奨学金を申し込む人は、以下の日時に指定の場所に書類を取りに来てください。

日時: 4月25日 14:20-14:40、15:20-15:40

4月26日 14:20-14:40、15:20-15:40

場所: 3号館1階エレベーターホール

③日本学生支援機構奨学金に書類を提出する生徒は、以下の日時に指定場所に提出しに来てください。基準を満たしていれば、第1回、第2回のどちらでも、給付・貸与奨学金に申請できます。

第1回申請

日時: 5月8日(月) 14:50~16:30

場所: 講堂

5月12日(金) 14:50~16:30

5月15日(月) 14:50~16:30

第2回申請

日時:	6月2日(金)	14:50~16:30	場所: 講堂
	6月9日(金)	14:50~16:30	
	6月13日(火)	14:50~16:30	

書類に不備があると受け付けられません。当日に書類不備がないように、事前に提出書類についてわからないことは担当者に質問をしましょう。

申請時の持ち物

1. 提出書類一覧【様式①】で自分が申請する奨学金に必要な書類
2. 記入済の申込みのてびき (pp. 4 ~ 24)
3. その他の封筒に入っている書類一式
4. 入力確認用紙
5. 筆記用具

注意事項

- 申請するのは生徒本人です。生徒本人が申し込むようにして下さい。
- 評定平均(2年生末まで)は担任の先生に確認して下さい。
- 様式集で記入するものはすべて(消すことのできない)ボールペン(黒)で記入すること。申込みのてびきは鉛筆かシャープペンで記入すること。書き直しにならないように、丁寧に書くようにしましょう。
- 申込の手引き p.39には、学校に提出する書類はホッチキスで留めて提出とあるが、不備があってもやり直しになることがあるので、ホッチキスで留めずに持ってきて下さい。
- すべての書類が不備なく提出できたら、ユーザーIDとパスワードを伝えます。申込みの手引きに書いてある内容をスカラネットで入力して下さい。申込みのてびきと異なる内容を入力した場合、訂正できないので、正確に入力するようにして下さい。
- スカラネットの入力を済ませたら、受付番号を確認し、申込みの手引き・入力確認用紙に書き残してください。指定された日時までに入力確認用紙を奨学金担当者に提出して下さい。そしてマイナンバー関係書類をJASSOに郵送して下さい。
- 書類のことでわからないことは提出日に尋ねるのではなく、事前に確認しておき、当日不備のないようにすること。わからないことは奨学金担当者や申込の手引きの裏面にある「申込みに関する問い合わせ先」の日本学生支援機構に尋ねて下さい。

※日本学生支援機構の給付型奨学金には学力の基準があります。学力基準である「基準評定平均 3.5 以上であること」を満たさない場合でも、「将来社会で自立し、および活躍する目標をもって、進学しようとする大学等における学修意欲を有すること」を説明できれば、申請することができます。給付型奨学金を検討していて、学力が基準に満たない生徒は

- 5月6日までに奨学金担当者から「高等教育機関への進学目的等に関するレポート」の用紙をもらう。
- 必要事項を消えないボールペン(黒)で書き、書類提出の際に、一緒に提出をする。事前に内容を吟味して不備のないようにして提出して下さい。